

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。  
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



き な まさ もり  
喜納 昌盛 議員



■町政全般について

**問** 次年度からの認定こども園移行への準備が始まっているが、4幼稚園のそれぞれの現状、そして課題を聞く。

**総務部長** 昨年11月に策定した基本方針に基づき一園目の坂田幼稚園の

移行準備を進めている。今月(6月)1日に園の運営を担う法人の候補者を決定し来年4月1日の開園に向け調整を進めていく。残りの3幼稚園は現時点ではこれまで通り。大きな懸念事項は無いが、従来からの課題の人員不足は解消されていない。

が、期間と対象農地は何筆で何坪を予定しているのか。  
**産業観光課長** 期間は6月から8月までの3か月。筆数は5千811筆、125万2千坪を予定。

**問** 「西原さわふじマルシェ」の指定管理者からの事業報告はどうなっているか。  
**建設部長** 指定管理者のJAおきなわ西原支店から5月26日提出されている。

**町長** 県と市町村の意見交換をし、一括交付金制度の存続、サンライ



ズベルト構想が策定され、大型MICE施設の実現に向け環境整備が進むと感じている。

■地権者に情報発信はどの様に行う！

**問** 的確な時期に、的確な情報を地権者へ提供することが大切と考えるが、地権者への情報発信はどの様に行っていくのか。  
**建設部長** これまで年一回送付している区画整理だよりを今後は、年二



ま え しろ てつ  
真栄城 哲 議員



**町長** 事前説明は琉大側からはなく、新聞報道で知った。5月27日に移転事業事務局・推進本部と状況確認と意見交換を行った。

**町長** 県と市町村の意見交換をし、一括交付金制度の存続、サンライ

り執行していくことが大切。予算要求し、繰越しを出すようでは信用を無くす。予算配分を含め、執行体制、これはしっかり対応する。

■学校施設や備品について！

**問** 学校施設や備品等について、要望や意見などはないか。  
**教育部長** 町PTA連合会との意

**教育部長** スポーツ少年団や部活動で、子供たちが使っている。現場を確認し、老朽化や危険があるものは、しっかり対応したい。  
**問** 安全がまず第一、という観点から、しっかり対応してもらいたい。  
**教育長** 早急に現場確認を行って最優先で、対応したい。

回発行し、また、ホームページでの情報発信に向け、掲載内容について精査している。

■事業費確保と執行体制は大丈夫か！

**問** 事業費確保が最重要課題。町はどの様な手法で進めているのか。

**町長** 令和3・4年度のように、令和5年度以降も要望通り予算確保できるか不透明。現在、予算配分率の良い社会資本整備総合交付金への移行が出来るか、可能性について県と調整中。  
**問** 仮に、単年度5億円、6億円と予算が付いたら、執行体制は大丈夫か。  
**町長** まず予算を獲得し、しっか

見交換会で、クラー故障への対応。また、バレーボールクラブの指導者からは、バレーボールの支柱老朽化に対するの相談などがあった。  
**問** 例えばバレーボールの支柱老朽化は、科目ではない為、後回しになっている部分がある。危険性がないのかどうかしっかり考えてもらいたい。



その他の質問  
○本町のまちづくり、都市マスタープランについて



ぎ ま のぶ こ  
儀間 信子 議員



■財政が好転！

**問** 敬老祝金の支給ができないか。

**町長** 高齢化の著しい進展により今後も医療や介護分野における財政負担は大きくなると見込まれる。対象者が増加する事で事業費の増加が予想さ

れる。財政状況は厳しい状況が続くと見込まれる中、慎重に検討する必要がある。

■厳しい財政状況の中で、休止について前上問町長は苦渋の決断をせざるを得ない状況だったと私は推測する。敬老思想の観点からこれまでやってきた事業を止める事は、本人が一番辛く悲しい思いをしたはず。実際

会った時、財政が許せば本当に続けたかったとの心情も吐露していた。それに対し、公約違反、放棄、縮小しても支給すべき等、辛辣な発言があった。2020年3月議会において賛否が分かれた議案「敬老祝金条例の一部を改正する」が提案された。崎原町長は提案を受ける側の町会議員、議案に反対をした。裏を返せば財政が厳しかろう

が、なかるうが支給すべき、ない袖も振りなさいという事になる。副町長として、町長を補佐し反対の立場であったその時の心情を聞く。

**町長** 財政の厳しさというのは鑑みており、それに反対ではない。前年も減額、さらに減額に反対した。

**問** 令和3年3月の議会にて、敬老祝金の支給について取り上げた。その時の答弁の文章が、前上問町長が休止する時に提案理由とした文言と同じ。反対をした言動から見ればすぐにでも復活できるのでは。矛盾を感じないか。  
**町長** 連続しての減額に反対だ。基金への積み立て、内部のカット分の戻し等、財政がよくなっ

**問** 休止を復活させる考えは。



その他の質問  
○補聴器助成について

**町長** 財政は一時好転した。継続していきけるかは検討していく。

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。  
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。